

『今年の育苗時期は高温傾向が予想されます』

2021. 04.02

今年の桜の開花は、全国的に平年より10日ほど早くなっており、気温が高い事が要因となっております。早生地区では3月に育苗が始まっておりますが、「苗を焼いてしまった」という報告が入っております。3月の苗焼けは稀であり、今年の気温が高い傾向であることがわかります。ハウスの温度管理にも油断があったのかもしれませんが。

今後も、この高温傾向は続くのではないかと予想されるため、ハウスの温度管理には十分注意してください。



高温障害による苗焼け。

◎苗を焼かないための対策として。

- ①ハウス内温度が **35℃以上** になる場合は、ハウスサイドの換気や入口の扉を開放してハウス内温度を上げないようにしてください。
- ②翌日の天気が晴れの予報の場合は、翌朝の午前中に換気をする。
- ③ハウスの天井に遮光ネットなどを活用する方法も有効です。
- ④初期の灌水量はたっぷりと。
- ⑤ハウスのフィルムと育苗フィルムの両方が新品の時は、光線がよく通るので特に温度管理には注意する。

※高温予想としていますが、気象条件の予測は難しいため、天候確認は毎日行いその都度管理は御自身で判断をしてください。



↑高温対策に遮光ネットを活用する方法も有効
※曇天時はネットを下す。

◎焼け対策にオススメ

- ・育苗ハウスに散乱光フィルムを使用する。
→弊社製品 トーカンエース梨地、トーカングッドクール
- ・育苗フィルムを温度上昇の抑制効果が高いフィルムにする。
→弊社製品 トーカンほなみ
※ハウスの温度管理は必ずしてください。

☆弊社製品については、弊社までお問い合わせください。

☆育苗時のトラブルは、まずは所轄の普及センター、JAにご相談ください。